

**問** 老朽化したブロツク  
塔などは強制的に取り除  
くことは出来るか。

まちづくり

## 地震津波、少子化対策は

## 町総合戦略の方針による



おなが まさひろ  
**小永 正裕 議員**

津波などの浸水域に建つ集会所の高台への移設について、建物、土地の地区負担はどうなるのか。また、少子化問題は製

は、地区負担は一割、土地は無償だ。

インターネット調査は、欄を設けていた。このアンケート調査は、望があれば自由に書ける。その他に、意見や要望があれば自由に書ける。る際に何が重要か問うてある。

5850部を各世帯へ郵送によつて実施している。各地区、各世帯への聞き取り調査は行つていな  
い。

国交省に何度も申し入れをしている。現在、取りかかっており、最終の説明資料を作成して頂いてい

造業や商業の集約する自治体で人口の自然増が政府の調査で判明している。三セクの缶詰工場の利益で雇用増を期待したが、利益を出す考えはないと言われる。本町の財産は農地、海、山のみだ。若者を雇用する場があれば、少子化対策につながると思うが、企業誘致や起業などで若者の働き場を作る考えはあるか。

**地元への  
聴取は行つたか**

**問** 国交省の行ったアンケート調査の内容、提示された3ルート帯について、平成26年9月、地域住民、自治体等に意見聴取しているか。しているとしたら、どの地区の人々に聴取したか。

全体的には黒潮町総合戦略の方針に沿い取組んでいる。

また、自治体への聴取  
内容への答弁内容は。  
盛土工法で津波に対し  
てのシミュレーションは  
どうなつたか。

既設の避難道や避難タワーは、危険箇所があれば今後、地区からの要望で改善すべきものはしていく。

アンケート調査の内容は、1回目は地域の課題について、2回目はルート案を考へる際に何が重要か、



優良農地を残せ！（入野早咲地区）